



平成 20 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド・ドット・コム
代 表 者 名 代表取締役社長 安嶋 幸直
(J A S D A Q ・ コード 2 3 3 0)
問 合 せ 先 執行役員経理部長 飯田 潔
電 話 0 3 - 5 3 3 9 - 5 2 1 1

平成 20 年 12 月期中間業績（連結・個別）の 前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成20年12月期中間業績（連結・個別）と、前年同期の実績値と比較して差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 平成 20 年 12 月期中間業績における前年同期実績との差異について

(連結)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前中間期連結業績 (A) (平成 19 年 1 月 1 日～ 平成 19 年 6 月 30 日)	7,497	114	42	787
当中間期連結業績 (B) (平成 20 年 1 月 1 日～ 平成 20 年 6 月 30 日)	2,621	△384	△405	△477
増減額 (B－A)	△4,876	△498	△447	△1,264
増 減 率	△65.0%	—	—	—

差異の理由

当中間期の連結売上高の減少につきましては、前期における iTouch Holdings, Ltd. の売却によるものです。営業利益と経常利益につきましては当該子会社の売却による売上高の減少に伴い、減少いたしました。中間純損益の差異につきましては、経常利益の減少に加え、前中間期に特別利益を計上したことによるものです。

(個別)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前中間期業績（A） （平成19年1月1日～ 平成19年6月30日）	1,199	△218	△180	878
当中間期業績（B） （平成20年1月1日～ 平成20年6月30日）	2,159	△247	△262	△1,330
増減額（B－A）	960	△29	△82	△2,208
増減率	80.0%	－	－	－

差異の理由

当期の個別売上高につきましては、国内外とも第2世代携帯電話（2G）から撤退し、第3世代携帯電話（3G）向けコンテンツに注力した結果、コンテンツ事業、マスターライセンス事業ともに順調に推移し、大幅に増加いたしました。一方、営業利益につきましては、売上拡大に伴う広告宣伝費の増加で、営業損失の幅が拡大いたしました。経常利益につきましては、営業損失の拡大と円高による為替差損の発生により、損失幅が拡大いたしました。中間純利益につきましては、連結の差異の理由に記載いたしましたとおり、前中間期において特別利益を計上したことと、当中間期における子会社株式評価損の計上により、当期損失の幅が拡大いたしました。

以 上